

29年5月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成29年 5月1日～ 29年5月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は40社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/5月	6月	7月
仕入動向	国産材	△ 11.3	△ 9.7	△ 1.7
	外材	△ 17.9	△ 6.4	△ 5.4
販売動向	国産材	△ 16.1	△ 1.6	3.4
	外材	△ 11.5	1.3	2.7
在庫動向	国産材	△ 3.2	△ 11.3	0.0
	外材	△ 5.1	△ 13.2	△ 4.2

・国産材・外材製材品の仕入は、3カ月連続減少で推移。

・国産製材品の販売は5月、6月の減少、7月はやや増加に。外材は5月の減少から6月、7月はやや増加に。

・国産材製材品の在庫は5月、6月のやや減少が7月は横ばいに。外材は3カ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	29/5月	6月	7月
スギ正角(グリーン)	△ 2.1	△ 4.3	0.0
スギ正角(KD)	△ 6.0	△ 2.1	0.0
ヒノキ正角	△ 3.8	△ 4.0	2.2
ヒノキ土台角	△ 3.8	△ 4.0	2.2
米ツガ正角(現地挽)	4.2	4.3	4.5
米ツガ防腐土台角	2.1	4.3	0.0
米ツガ割物(現地挽)	2.3	2.4	2.4
米マツ平角	4.2	2.2	△ 2.4
北洋アカマツタルキ(現地挽)	16.1	3.7	△ 4.0
ホワイトウッド集成管柱	1.8	3.7	△ 2.0
レッドウッド集成平角	10.0	6.3	△ 2.2
型枠合板(輸入)	△ 4.3	2.3	0.0
針葉樹構造用合板	△ 6.8	△ 9.5	△ 5.3
針葉樹構造用合板(厚物)	0.0	△ 5.0	△ 2.6

・スギ正角グリーン及びKDは5月、6月のやや弱含みから7月は保合に。ヒノキ正角及び土台角は5月、6月のやや弱含みから7月はやや強含みに。

・米ツガは正角(現地挽き)、土台角、割物(現地挽き)ともやや強含み。米マツ平角は5月、6月のやや強含みから7月はやや弱含みに。北洋アカマツタルキは5月強含、6月のやや強含から7月にはやや弱含に。

・WW集成管柱及びRW集成平角は5月、6月の強含みが7月にはやや弱含みに。

・輸入型枠合板は5月の弱含みから6月はやや強含み、7月は保合に。針葉樹構造用合板は弱含みで推移。